

加齢と共に排尿症状の訴えが多くなります。その原因について

知っていますか。排尿症状の訴えの原因には、体の器質的な変化

(組織や細胞が元の形態に戻らないような変化が起こること)がしばしば関連しています。今回は、その原因の一つである前立腺肥大症について説明します。

前立腺肥大症とは、前立腺が肥大して、さまざまな

とされています。80歳では前立腺肥大症の頻度は約

一方、前立腺肥大症による合併症が起きている時に

尿のドレナージ

90%になるとされています。このことから、病気というよりは生理的な加齢現象といえるべきかもしれません。また、前立腺の大きさと排尿症状が必ずしも相関するわけではなく、前立腺肥大症の患者さん全員に対して治療が必要なわけでは

ありません。一方、前立腺肥大症により尿のドレナージ

は注意が必要です。合併症の一つが尿閉です。尿閉とは、膀胱から尿を全く、またはほとんど排出できなくなった状態のことです。尿閉に伴い尿の細菌感染や腎不全(腎臓の機能が低下すること)によって体内の水分や電解質のバランスが乱れる状態)が合併することも

あります。このような状態に対処する必要があります。他にも血尿の原因や膀胱結石症の原因となることもあり、慢性的な排尿症状の悪化を自覚する時には泌尿器科専門医への受診をお勧めします。

次回も前立腺の病気についてお話ししていきます。

岩手医科大学 泌尿器科

加藤 廉平



いわて医療通信

【男性が注意すべき病気、前立腺疾患】

1. 前立腺肥大症とは

排尿の症状を引き起こす病

気です。前立腺は男性のみ

にある臓器

で、膀胱の

下に位置

し、尿道の

まわりを取

り囲んでい

ます。前立

腺は精液の

一部に含ま

れる前立腺

液を作って

います。前

立腺の重量



90%になるとされています。このことから、病気というよりは生理的な加齢現象といえるべきかもしれません。また、前立腺の大きさと排尿症状が必ずしも相関するわけではなく、前立腺肥大症の患者さん全員に対して治療が必要なわけでは

ありません。一方、前立腺肥大症により尿のドレナージ

は注意が必要です。合併症の一つが尿閉です。尿閉とは、膀胱から尿を全く、またはほとんど排出できなくなった状態のことです。尿閉に伴い尿の細菌感染や腎不全(腎臓の機能が低下すること)によって体内の水分や電解質のバランスが乱れる状態)が合併することも

あります。このような状態に対処する必要があります。他にも血尿の原因や膀胱結石症の原因となることもあり、慢性的な排尿症状の悪化を自覚する時には泌尿器科専門医への受診をお勧めします。

次回も前立腺の病気についてお話ししていきます。

岩手医科大学 泌尿器科

加藤 廉平